

家畜出荷団体への 貸付審査「要改善」

北九州市包括外部監査

北九州市包括外部監査人の
広瀬隆明・公認会計士が17
日、今年度の監査結果報告書
を北橋健治市長に提出した。
法令や規則違反に対する「指
摘」が30件、経済性や効率性
の面から改善を求めた「意見」
が53件あり、北橋市長は
「真摯に受け止めて今後の市
政運営に生かしていく」と語
った。

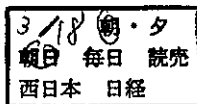
今回の監査は15の特別会計
と、12の外郭団体に絡む事務
が対象。このうち食肉センタ
ーの家畜出荷団体に対する貸
し付けでは、年間2千頭前後
の出荷実績しかない団体が出

荷見込み数を3500頭と申
請し、年間7千万円の貸し付
けを受けており、審査につい
て「改善の必要がある」と指
摘した。

また、中央卸売市場では食
堂や売店などの事業者の施設
使用料と電気・水道使用料の

滞納金残高が3172万円に
上ったが、延滞金の徴収をし
てなく、「継続的な使用料徴
収を念頭に置いたルールが必
要」と指摘した。

22

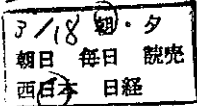


「貸し付けで不適切審査」

北九州市外部監査 違反30件指摘

北九州市は17日、15の
特別会計と12の外郭団体
の昨年度までの運営につ
いて、外部監査の結果報

22



報告書を手渡した。

規模の大きな特別会計
と、監査規定がない外郭
団体を対象に監査が行わ
れ、規則が守られていな
い計30件(特会12件と外
郭団体18件)を指摘し、
うち特別会計の3件を特
に重要とした。

特に重要とされたのは
▽市食肉センター(小倉
北区末広町)が2001
年から毎年、家畜出荷団
体に7千万円貸し付けた
際、出荷頭数に基づく適
切な審査をしなかった▽
市中央卸売市場(同区西
港町)では、食堂などの
入居施設が1988年か
ら施設使用料や電気・水
道代を滞納し、年間収入
の約7%に当たる約31
00万円を滞納している
▽港湾整備では、200
8年度に電気対策で荷さ
ばき地の使用料を減免し
た際、条例で決められて
いる利用者からの減免申
請を受けずに約3900
万円を減免した1の3
件。